

部署名	部 教育委員会	課 スポーツ振興課	事業年度期限	●無 ○有 (平成 年度～平成 年度)				
会計	一般会計	款・項・目 100501 保健体育総務費	新規/継続 (事業区分1)	継続	市民協働	市民主体	総合計画コード	3215
事業名	02 かすみがうらマラソン大会開催事業							
目的 (成果)	マラソン大会を通して、交流・親睦を図るとともに、霞ヶ浦の水質浄化を中心に環境問題の意識の啓発と福祉の充実をテーマとする。							
内容 (概要)	土浦市との共催事業であり、日本陸上競技連盟公認のフルマラソン、10マイル、5キロの種目である。また、国際盲人マラソンかすみがうら大会(国際視聴障害者スポーツ協会公認大会:フルマラソン、10マイル、5キロの種目)を兼ねて実施する。							

■事業費 (単位:円)

事業内容	平成21年度 決算			平成22年度 決算			平成23年度 予算			
	第19回大会は24,480人がエントリー	第20回大会は25,058人がエントリー			第21回大会は26,241人がエントリー					
財源内訳	国庫支出金			国庫支出金			国庫支出金			
	県支出金			県支出金			県支出金			
	市債			市債			市債			
	その他			その他			その他			
	一般財源	3,000,000		一般財源	3,000,000		一般財源	3,000,000		
計	3,000,000		計	3,000,000		計	3,000,000			
歳出内訳	節番	節名称	金額	節番	節名称	金額	節番	節名称	金額	うち臨時分
	19	負担金、補助及び交付金	3,000,000	19	負担金、補助及び交付金	3,000,000	19	負担金、補助及び交付金	3,000,000	
		決算額計		3,000,000	決算額計		3,000,000	予算現額計		3,000,000
(参考)	H21当初予算額		3,000,000	H22当初予算額		3,000,000	伸び率(%) 対・決		対・予	
人件費	職員人件費 0.8 人工		5,966,250	職員人件費 0.8 人工		6,065,250	職員人件費 0.8 人工		6,035,250	
総事業費	歳出+職員人件費		8,966,250	歳出+職員人件費		9,065,250	歳出+職員人件費		9,035,250	

【特記事項】  
第21回大会は東日本大震災により会場、コースに損壊が生じ安全に運営できないため中止にした。

■指標

種類	指標名	単位	説明		平成21年度	平成22年度	平成23年度
活動指標	エントリー者数	人	エントリーした人数	目標		25000	25,000
				実績	24,480	25,058	
				目標			
成果指標	参加者数	人	実際に参加した人数	目標		20000	21,000
				実績	20,928	20,825	
				目標			
				実績			

■事務事業の点検

**必要性の点検**

法定受託事務であるなど、市が実施する義務がある

事業を休廃止した場合、市民生活(行政サービスの提供)に深刻な影響が発生する

社会情勢の変化を踏まえても十分なニーズがある(ニーズを説明できる)

【必要性 Total判定】  
 A:高い(義務)     B:普通     C:低い

<Total判定の根拠など、必要性に関する補足説明>  
 国内有数の市民参加によるマラソン大会であり、環境問題、福祉の充実等がテーマとなる。また、フルマラソンのコース設定は、かすみがうら市内が半分以上となっており、コース内における地域振興、また市内のマラソン愛好者においても、大会参加の機会が提供され、生涯スポーツの振興上、有意義である。

**目標達成状況の点検**

活動に関する昨年度の目標は概ね達成できた

成果に関する昨年度の目標は概ね達成できた

「取り組み方針(改善方針)」など指標に表れない事項について昨年度の目標は達成できなかった

【目標達成状況 Total判定】  
 A:目標よりも大きな成果が得られた     B:概ね目標の成果が得られた  
 C:目標とする成果が得られなかった

<Total判定の根拠など、目的達成状況に関する補足説明>  
 第20回の記念大会より、エントリー者数を先着25,000人に変更、車いすレースの新設とした。混雑解消のためスタート地点を変更した。

**実施内容・方法の点検**

社会情勢やニーズの変化等を踏まえると、サービス対象・水準を見直す必要がある

当該事業の受益者が特定の個人や団体に偏っている

民間事業者やNPOなどに任せられる業務がある

コストを下げる工夫が考えられる

成果を高める工夫が考えられる

【実施内容等 Total判定】  
 A:見直す余地があり直ぐに実施     B:見直す余地があるが時間が必要  
 C:見直す余地がない

<Total判定の根拠など、実施内容・方法に関する補足説明>  
 主催:かすみがうらマラソン大会実行委員会、土浦市、かすみがうら市、他  
 主管:茨城県陸上競技協会 後援:国際視覚障害者スポーツ協会、茨城県、茨城県教育委員

■課題と対応方策

課題	メインスポンサーの確保と協賛者の拡充。交通規制・迂回路等の検討(一部区間)
次年度における対応方策(改善方策)	協賛者の拡充を図る。
中長期的な視点での対応方策(改善方策)	利用者が安全で快適に使用するため、劣化している施設の修繕計画等の対応や利用者の拡充を図るため、施設の見回りや点検等の徹底が必要である。

■今後の方向性

一次評価【課長評価】

評価者: 飯田 泰寛    担当課名: スポーツ振興課

事業の方向性:  このまま継続     改善して継続     休廃止( 年後を目処)     終了

事業費の方向性:  増額     現状維持     減額

次年度の取組方針(改善方針): より多くの参加者と参加者に楽しんでいただける大会を目指し、大会運営スタッフ(ボランティア)の充実を図る。

二次評価【部長評価】

部長名: 仲川 文男    担当部名: 教育委員会

確認:  確認

土浦市との共催事業であり、霞ヶ浦の水質浄化啓発による環境問題と福祉の充実をテーマとすることから、引き続き支援されたい。

※事務事業コード／ 0110050103

平成 23 年度 事務事業シート

P1

部署名	部 教育委員会	課 スポーツ振興課	事業年度期限	●無 ○有 (平成 年度～平成 年度)			
会計	一般会計	款・項・目 100501 保健体育総務費	新規／継続 (事業区分1)	継続	市民協働	市民主体	総合計画コード
事業名	03市民ふれあいスポーツ推進事業						3215
目的 (成果)	子供から高齢者までスポーツレクリエーション活動の場を提供し、市民の体力・健康づくりを推進する。						
内容 (概要)	市民ふれあいスポーツフェア、市民マラソン大会、各種スポーツ教室等を開催する。						

■事業費 (単位:円)

	平成21年度 決算		平成22年度 決算		平成23年度 予算			
事業内容	市民ふれあいスポーツフェア2009 1回 第5回市民マラソン大会 1回 水泳教室 5日間 カヌー教室 3日間 サイクリング(恋瀬川) 1回		市民ふれあいスポーツフェア2010 1回 第6回市民マラソン大会 1回 水泳教室 5日間 カヌー教室 3日間 サイクリング(恋瀬川) 1回		市民ふれあいスポーツフェア2011 1回 第7回市民マラソン大会 1回 水泳教室 5日間 カヌー教室 1日 サイクリング(恋瀬川) 1回			
財源内訳	国庫支出金		国庫支出金		国庫支出金			
	県支出金		県支出金		県支出金			
	市債		市債		市債			
	その他	124,000	その他	30,000	その他	152,000		
	一般財源	4,082,873	一般財源	4,521,579	一般財源	4,418,000		
計	4,206,873	計	4,551,579	計	4,570,000			
歳出内訳	節番	節名称	金額	節番	節名称	金額	うち臨時分	
	08	報償費	1,882,169	08	報償費	1,951,689	1,952,000	
	09	旅費	141,920	09	旅費	84,050	86,000	
	11	需用費	859,308	11	需用費	1,045,831	1,006,000	
	12	役務費	243,845	12	役務費	234,354	328,000	
	13	委託料		13	委託料	300,000	300,000	
	18	備品購入費	300,631	18	備品購入費	188,055		
	19	負担金、補助及び交付金	745,000	19	負担金、補助及び交付金	720,000	820,000	
	27	公課費	34,000	27	公課費	27,600	78,000	
		決算額計	4,206,873		決算額計	4,551,579		予算現額計
(参考)	H21当初予算額	4,577,000	H22当初予算額	4,848,000	伸び率(%) 対・決	0.4	対・予	-5.7 -
人件費	職員人件費 0.6 人工	4,375,250	職員人件費 0.6 人工	4,447,850	職員人件費 0.6 人工			4,425,850
総事業費	歳出+職員人件費	8,582,123	歳出+職員人件費	8,999,429	歳出+職員人件費			8,995,850

【特記事項】

■指標

種類	指標名	単位	説明		平成21年度	平成22年度	平成23年度
活動指標	大会等開催延べ回数	回/年	市民ふれあいスポーツフェア・市民マラソン大会及び教室等	目標	11	11	12
				実績	10	11	
成果指標	市民ふれあいスポーツフェア参加者数	人	参加人数	目標	1,400	1,400	1,400
				実績	1,150	1,170	
成果指標	市民マラソン大会参加者数	人	参加人数	目標	900	900	900
				実績	735	664	

■事務事業の点検

必要性の点検

<input type="checkbox"/>	法定受託事務であるなど、市が実施する義務がある
<input type="checkbox"/>	事業を休廃止した場合、市民生活(行政サービスの提供)に深刻な影響が発生する
<input checked="" type="checkbox"/>	社会情勢の変化を踏まえても十分なニーズがある(ニーズを説明できる)
【必要性 Total判定】	
<input type="radio"/>	A:高い(義務)
<input checked="" type="radio"/>	B:普通
<input type="radio"/>	C:低い

<Total判定の根拠など、必要性に関する補足説明>  
 日常的にスポーツに親しみ、スポーツを楽しみ、スポーツを支え、育てる活動に参画する機会を確保する。

目標達成状況の点検

<input type="checkbox"/>	活動に関する昨年度の目標は概ね達成できた
<input checked="" type="checkbox"/>	成果に関する昨年度の目標は概ね達成できた
<input type="checkbox"/>	「取り組み方針(改善方針)」など指標に表れない事項について昨年度の目標は達成でき
【目標達成状況 Total判定】	
<input type="radio"/>	A:目標よりも大きな成果が得られた
<input checked="" type="radio"/>	B:概ね目標の成果が得られた
<input type="radio"/>	C:目標とする成果が得られなかった

<Total判定の根拠など、目的達成状況に関する補足説明>  
 市民マラソン大会は、インフルエンザ等の影響により、キャンセルが発生した。一般の参加者が少なく、参加者募集の経過をみる。

実施内容・方法の点検

<input type="checkbox"/>	社会情勢やニーズの変化等を踏まえると、サービス対象・水準を見直す必要がある
<input checked="" type="checkbox"/>	当該事業の受益者が特定の個人や団体に偏っている
<input type="checkbox"/>	民間事業者やNPOなどに任せられる業務がある
<input type="checkbox"/>	コストを下げる工夫が考えられる
<input type="checkbox"/>	成果を高める工夫が考えられる
【実施内容等 Total判定】	
<input type="radio"/>	A:見直す余地があり直ぐに実施
<input checked="" type="radio"/>	B:見直す余地があるが時間が必要
<input type="radio"/>	C:見直す余地がない

<Total判定の根拠など、実施内容・方法に関する補足説明>  
 市民マラソン大会は一般の参加者が少なく、コース設定や広報活動、内容等の検討を要する。

■課題と対応方策

課題	参加者の拡充を図り、幅広い市民の参加が求められる。
次年度における対応方策(改善方策)	住民ニーズの検討や各種教室を増やす事業内容等を検討する。
中長期的な視点での対応方策(改善方策)	あらゆる機会と場所において誰もがその適正健康状態においてスポーツのできる環境をつくる必要がある。

■今後の方向性

一次評価【課長評価】	
評価者	飯田 泰寛 担当課名 スポーツ振興課
事業の方向性	<input checked="" type="radio"/> このまま継続 <input type="radio"/> 改善して継続 <input type="radio"/> 休廃止( 年後を目処) <input type="radio"/> 終了
事業費の方向性	<input type="radio"/> 増額 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減額
次年度の取組方針(改善方針)	市民ニーズにあった事業を展開し、HPや広報誌等で周知し、多くの参加を募る。

二次評価【部長評価】	
部長名	仲川 文男 担当部名 教育委員会
確認	<input checked="" type="checkbox"/> 確認
生涯スポーツを推進するため様々なスポーツニーズに対応したスポーツの機会を提供するとともに、新たな取組も検討されたい。	

※事務事業コード／ 0110050105

平成 23 年度 事務事業シート

部署名	部 教育委員会	課 スポーツ振興課	事業年度期限	●無 ○有 (平成 年度～平成 年度)			
会計	一般会計	款・項・目 100501保健体育総務費	新規／継続 (事業区分1)	継続	市民協働	市民主体	総合計画 コード
事業名	05スポーツ団体育成事業						3217
目的 (成果)	生涯スポーツの振興には、生涯スポーツの関係団体の役割が大きく、スポーツ振興のため市民に対し実技指導やその他スポーツに関する指導助言を行い、各団体会員の育成、健康増進、競技力の向上を図り、団体の健全育成を目指す。						
内容 (概要)	体育協会加盟団体は市長杯大会及び各種大会の開催、各事業への協力及びスポーツ少年団の健全育成の支援、また体育指導委員の育成を図ることにより、新たな競技種目の発展と市民スポーツ活動の機会を高めることとなる。						

■事業費 (単位:円)

平成21年度 決算			平成22年度 決算			平成23年度 予算		
事業内容	各団体毎に大会の開催。 市主催事業に協力する。 スポーツ少年団市長杯の実施。		各団体毎に大会の開催。 市主催事業に協力する。 スポーツ少年団市長杯の実施。		各団体毎に大会の開催。 市主催事業に協力する。 スポーツ少年団市長杯の実施。			【特記事項】
財源内訳	国庫支出金		国庫支出金		国庫支出金			
	県支出金		県支出金		県支出金			
	市債		市債		市債			
	その他		その他		その他			
	一般財源	5,376,950	一般財源	5,419,560	一般財源	5,542,000		
	計	5,376,950	計	5,419,560	計	5,542,000		
歳出内訳	節番	節名称	金額	節番	節名称	金額	うち臨時分	
	01	報酬	877,500	01	報酬	922,500		
	09	旅費	119,750	09	旅費	83,060		
	12	役務費	38,400	12	役務費	40,000		
	13	委託料	500,000	13	委託料	500,000		
	19	負担金、補助及び交付金	3,841,300	14	使用料及び賃借料	31,500		
				19	負担金、補助及び交付金	3,842,500		
	決算額計	5,376,950	決算額計	5,419,560	予算現額計	5,542,000		
(参考)	H21当初予算額	6,031,000	H22当初予算額	6,043,000	伸び率(%) 対・決	2.3	対・予	-8.3
人件費	職員人件費 0.7 人工	5,170,750	職員人件費 0.7 人工	5,256,550	職員人件費 0.7 人工		5,230,550	
総事業費	歳出+職員人件費	10,547,700	歳出+職員人件費	10,676,110	歳出+職員人件費		10,772,550	

■指標

種類	指標名	単位	説明		平成21年度	平成22年度	平成23年度
活動指標	スポーツ推進委員数	人	条例定数26人	目標	26	26	26
	少年団及び体協加盟団体市長杯大会数	回/年	少年団29団体・体協加盟団体23団体(少年団を含む)	実績	25	25	
成果指標	スポーツ推進委員活動人数	人/年	活動の延べ人数	目標	162	162	123
	少年団及び体協加盟団体市長杯大会参加チーム数	チーム/年	参加チーム数(他市チーム含む、ゴルフ大会は団体戦のみ含む、ゴルフ個人・弓道は除く。)	実績	114	117	
				目標	200	200	200
				実績	174	181	

■事務事業の点検

<b>必要性の点検</b>	
<input type="checkbox"/>	法定受託事務であるなど、市が実施する義務がある
<input checked="" type="checkbox"/>	事業を休廃止した場合、市民生活(行政サービスの提供)に深刻な影響が発生する
<input type="checkbox"/>	社会情勢の変化を踏まえても十分なニーズがある(ニーズを説明できる)
【必要性 Total判定】	
<input type="radio"/>	A:高い(義務)
<input checked="" type="radio"/>	B:普通
<input type="radio"/>	C:低い
<Total判定の根拠など、必要性に関する補足説明>	
スポーツ団体等の育成及び競技力向上と市民スポーツの普及発展を図る。	
<b>目標達成状況の点検</b>	
<input type="checkbox"/>	活動に関する昨年度の目標は概ね達成できた
<input checked="" type="checkbox"/>	成果に関する昨年度の目標は概ね達成できた
<input type="checkbox"/>	「取り組み方針(改善方針)」など指標に表れない事項について昨年度の目標は達成でき
【目標達成状況 Total判定】	
<input type="radio"/>	A:目標よりも大きな成果が得られた
<input checked="" type="radio"/>	B:概ね目標の成果が得られた
<input type="radio"/>	C:目標とする成果が得られなかった
<Total判定の根拠など、目的達成状況に関する補足説明>	
市主催の各種事業において、各スポーツ団体、体育指導委員の協力により開催することができた。また、体育協会加盟団体の自主運営による大会も開催され青少年の健全育成も図れた。	
<b>実施内容・方法の点検</b>	
<input type="checkbox"/>	社会情勢やニーズの変化等を踏まえると、サービス対象・水準を見直す必要がある
<input checked="" type="checkbox"/>	当該事業の受益者が特定の個人や団体に偏っている
<input type="checkbox"/>	民間事業者やNPOなどに任せられる業務がある
<input type="checkbox"/>	コストを下げる工夫が考えられる
<input checked="" type="checkbox"/>	成果を高める工夫が考えられる
【実施内容等 Total判定】	
<input type="radio"/>	A:見直す余地があり直ぐに実施
<input checked="" type="radio"/>	B:見直す余地があるが時間が必要
<input type="radio"/>	C:見直す余地がない
<Total判定の根拠など、実施内容・方法に関する補足説明>	
多様化するスポーツ種目に対し、地域におけるスポーツの推進を図るため指導者の育成及び生涯スポーツの発展に寄与する。	

■課題と対応方策

課題	団体がそれぞれ独立して発展できるようスポーツ選手の育成及び指導者の養成をし団体の強化育成をする必要がある。
次年度における対応方策(改善方策)	誰もがいつでも、どこでもスポーツを行うことのできるよう総合型地域クラブの育成に努める。
中長期的な視点での対応方策(改善方策)	体育協会加盟団体は、自主運営を行うとともに各種大会等を開催し、当該地域におけるすべての世代の人々の交流が促進されるよう努める。

■今後の方向性

<b>一次評価【課長評価】</b>	
評価者	飯田 泰寛
担当課名	スポーツ振興課
事業の方向性	<input checked="" type="radio"/> このまま継続 <input type="radio"/> 改善して継続 <input type="radio"/> 休廃止( 年後を目処) <input type="radio"/> 終了
事業費の方向性	<input type="radio"/> 増額 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減額
次年度の取組方針(改善方針)	市主催の各種大会や行事等に協力し、円滑に運営できるよう支援し、スポーツ選手の育成に努め競技水準の向上を図る。

■二次評価【部長評価】

部長名	仲川 文男
担当部名	教育委員会
確認	<input checked="" type="checkbox"/> 確認
	体育協会、総合型地域クラブ、スポーツ推進委員が協調し、知識や技能を生かすことで、生涯スポーツの充実に貢献されたい。

※事務事業コード／ 0110050202

平成 23 年度 事務事業シート

部署名	部 教育委員会	課 スポーツ振興課	事業年度期限	●無 ○有 (平成 年度～平成 年度)			
会計	一般会計	款・項・目 100502 体育施設管理費	新規／継続 (事業区分1)	継続	市民協働	行政主体	総合計画コード
事業名	02 体育センター管理運営事業						3216
目的 (成果)	幅広い年齢層にわたって利用されていることから、良好な機能保持、施設周辺による景観に配慮した維持管理等を図る。						
内容 (概要)	市民が安全にスポーツが楽しめるよう良好な体育館の機能を保持するとともに体育センター施設及び敷地内の清掃、草刈、剪定など維持管理に努める。						

■事業費

(単位:円)

		平成21年度 決算		平成22年度 決算		平成23年度 予算		
事業内容	施設の維持管理運営業務			施設の維持管理運営業務				【特記事項】
財源内訳								
	国庫支出金			国庫支出金		国庫支出金		
	県支出金			県支出金		県支出金		
	市債			市債		市債		
	その他	310,460		236,370		310,000		
	一般財源	1,140,103		1,369,925		1,462,000		
	計	1,450,563		1,606,295		1,772,000		
歳出内訳	節番 節名称	金額	節番 節名称	金額	節番 節名称	金額	うち臨時分	
	11 需用費	1,052,573	11 需用費	1,040,838	11 需用費	1,232,000		
	13 委託料	318,610	12 役務費	34,730	12 役務費	40,000		
	14 使用料及び賃借料	79,380	13 委託料	454,767	13 委託料	431,000		
			14 使用料及び賃借料	75,960	14 使用料及び賃借料	69,000		
	決算額計	1,450,563	決算額計	1,606,295	予算現額計	1,772,000		
(参考)	H21当初予算額	1,977,000	H22当初予算額	1,919,000	伸び率(%) 対・決	10.3	対・予	-7.7 -
人件費	職員人件費 0.6 人工	4,773,000	職員人件費 0.6 人工	4,852,200	職員人件費 0.6 人工			4,828,200
総事業費	歳出+職員人件費	6,223,563	歳出+職員人件費	6,458,495	歳出+職員人件費			6,600,200

■指標

種類	指標名	単位	説明		平成21年度	平成22年度	平成23年度
活動指標	見回り回数	人	職員が実施した見回り回数	目標 実績	12 12	12 12	52
	年間の清掃回数	回/年	年間の清掃日数(トイレ清掃)	目標 実績	52 52	52 52	52
成果指標	施設に対する苦情件数	人/年	苦情件数	目標 実績	0 0	0 0	0
	施設の利用者数	チーム/年	施設の利用者数	目標 実績	7,000 4,845	7,000 4,611	7,000

■事務事業の点検

必要性の点検

<input type="checkbox"/>	法定受託事務であるなど、市が実施する義務がある
<input checked="" type="checkbox"/>	事業を休廃止した場合、市民生活(行政サービスの提供)に深刻な影響が発生する
<input checked="" type="checkbox"/>	社会情勢の変化を踏まえても十分なニーズがある(ニーズを説明できる)
【必要性 Total判定】	
<input type="radio"/>	A:高い(義務)
<input checked="" type="radio"/>	B:普通
<input type="radio"/>	C:低い

<Total判定の根拠など、必要性に関する補足説明>  
市内体育施設は、市民の生涯スポーツ・健康管理などに利用されていることから利用者にとって重要である。

目標達成状況の点検

<input checked="" type="checkbox"/>	活動に関する昨年度の目標は概ね達成できた
<input type="checkbox"/>	成果に関する昨年度の目標は概ね達成できた
<input type="checkbox"/>	「取り組み方針(改善方針)」など指標に表れない事項について昨年度の目標は達成でき
【目標達成状況 Total判定】	
<input type="radio"/>	A:目標よりも大きな成果が得られた
<input checked="" type="radio"/>	B:概ね目標の成果が得られた
<input type="radio"/>	C:目標とする成果が得られなかった

<Total判定の根拠など、目的達成状況に関する補足説明>  
利用者の安全性に配慮した維持管理業務

実施内容・方法の点検

<input checked="" type="checkbox"/>	社会情勢やニーズの変化等を踏まえると、サービス対象・水準を見直す必要がある
<input checked="" type="checkbox"/>	当該事業の受益者が特定の個人や団体に偏っている
<input type="checkbox"/>	民間事業者やNPOなどに任せられる業務がある
<input type="checkbox"/>	コストを下げる工夫が考えられる
<input checked="" type="checkbox"/>	成果を高める工夫が考えられる
【実施内容等 Total判定】	
<input type="radio"/>	A:見直す余地があり直ぐに実施
<input checked="" type="radio"/>	B:見直す余地があるが時間が必要
<input type="radio"/>	C:見直す余地がない

<Total判定の根拠など、実施内容・方法に関する補足説明>  
市民が安全にスポーツを楽しめるよう、常に見廻りを行い、適切な維持管理を行う。また、予測できない緊急時に対応するため、日ごろより緊急連絡網等の準備対策を行う。

■課題と対応方針

課題	施設が老朽化しており、電気保安関係及び照明器具等において、突発的な故障が発生することが懸念される。また、利用者が減少している。
次年度における対応方針(改善方針)	施設の維持管理については、例年と同様に行う。施設を安全に使用するため修繕計画を立てて修繕を行う。突発的な故障等が発生した場合には関係部局と協議して対応する。
中長期的な視点での対応方針(改善方針)	利用者が安全で快適に使用するため、劣化している施設の修繕計画等の対応や利用者の拡充を図るため、施設の見回りや点検等の徹底が必要である。

■今後の方向性

一次評価【課長評価】	
評価者	飯田 泰寛 担当課名 スポーツ振興課
事業の方向性	<input checked="" type="radio"/> このまま継続 <input type="radio"/> 改善して継続 <input type="radio"/> 休廃止( 年後を目処) <input type="radio"/> 終了
事業費の方向性	<input type="radio"/> 増額 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減額
次年度の取組方針(改善方針)	利用者が安全及び快適に使用するため、施設の維持管理を十分に努める。

二次評価【部長評価】	
部長名	仲川 文男 担当部名 教育委員会
確認	<input checked="" type="checkbox"/> 確認
市民が安全・安心にスポーツ等に親しめるよう、維持管理に努めることが肝要であり、継続していく必要がある。	





■指標

種類	指標名	単位	説明		平成21年度	平成22年度	平成23年度
活動指標	見回り回数	人	職員が実施した見回り回数	目標 実績	24 24	24 24	24
	年間の芝刈り日	回/年	年間の芝刈り日数(草刈含む)	目標 実績	10 10	10 10	10
成果指標	施設に対する苦情数	人/年	苦情件数	目標 実績	0 1	0 0	0
	施設の利用者数	チーム/年	施設の利用者数	目標 実績	41,100 39,599	41,100 24,270	41,100

■事務事業の点検

必要性の点検

<input type="checkbox"/>	法定受託事務であるなど、市が実施する義務がある
<input checked="" type="checkbox"/>	事業を休廃止した場合、市民生活(行政サービスの提供)に深刻な影響が発生する
<input checked="" type="checkbox"/>	社会情勢の変化を踏まえても十分なニーズがある(ニーズを説明できる)
【必要性 Total判定】	
<input type="radio"/>	A:高い(義務)
<input checked="" type="radio"/>	B:普通
<input type="radio"/>	C:低い

<Total判定の根拠など、必要性に関する補足説明>  
市内体育施設は、市民の生涯スポーツ・健康管理などに利用されていることから利用者にとって重要である。

目標達成状況の点検

<input checked="" type="checkbox"/>	活動に関する昨年度の目標は概ね達成できた
<input type="checkbox"/>	成果に関する昨年度の目標は概ね達成できた
<input type="checkbox"/>	「取り組み方針(改善方針)」など指標に表れない事項について昨年度の目標は達成でき
【目標達成状況 Total判定】	
<input type="radio"/>	A:目標よりも大きな成果が得られた
<input checked="" type="radio"/>	B:概ね目標の成果が得られた
<input type="radio"/>	C:目標とする成果が得られなかった

<Total判定の根拠など、目的達成状況に関する補足説明>  
利用者の安全性に配慮した維持管理業務

実施内容・方法の点検

<input checked="" type="checkbox"/>	社会情勢やニーズの変化等を踏まえると、サービス対象・水準を見直す必要がある
<input type="checkbox"/>	当該事業の受益者が特定の個人や団体に偏っている
<input checked="" type="checkbox"/>	民間事業者やNPOなどに任せられる業務がある
<input type="checkbox"/>	コストを下げる工夫が考えられる
<input type="checkbox"/>	成果を高める工夫が考えられる
【実施内容等 Total判定】	
<input type="radio"/>	A:見直す余地があり直ぐに実施
<input checked="" type="radio"/>	B:見直す余地があるが時間が必要
<input type="radio"/>	C:見直す余地がない

<Total判定の根拠など、実施内容・方法に関する補足説明>  
市民が安全にスポーツを楽しめるよう、常に見廻りを行い、適切な維持管理を行う。また、予測できない緊急時に対応するため、日ごろより緊急連絡網等の準備対策を行う。

■課題と対応方針

課題	施設が老朽化しており、電気保安関係及び照明器具等において、突発的な故障が発生することが懸念される。また、利用者が減少している。
次年度における対応方針(改善方針)	施設の維持管理については、例年と同様に行う。施設を安全に使用するため修繕計画を立てて修繕を行う。突発的な故障等が発生した場合には関係部局と協議して対応する。
中長期的な視点での対応方針(改善方針)	利用者が安全で快適に使用するため、劣化している施設の修繕計画等の対応や利用者の拡充を図るため、施設の見回りや点検等の徹底が必要である。

■今後の方向性

一次評価【課長評価】	
評価者	飯田 泰寛 担当課名 スポーツ振興課
事業の方向性	<input checked="" type="radio"/> このまま継続 <input type="radio"/> 改善して継続 <input type="radio"/> 休廃止( 年後を目処) <input type="radio"/> 終了
事業費の方向性	<input type="radio"/> 増額 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減額
次年度の取組方針(改善方針)	利用者が安全及び快適に使用するため、施設の維持管理を十分に努める

二次評価【部長評価】

部長名	仲川 文男 担当部名 教育委員会
確認	<input checked="" type="checkbox"/> 確認
	市民が安全・安心にスポーツ等に親しめるよう、維持管理に努めることが肝要であり、継続していく必要がある。



■指標

種類	指標名	単位	説明		平成21年度	平成22年度	平成23年度
活動指標	見回り回数	人	職員が実施した見回り回数	目標	30	30	30
				実績	30	30	
成果指標	年間の芝刈り日	回/年	年間の芝刈り日数(草刈含む)	目標	18	18	18
				実績	18	18	
成果指標	施設に対する苦情数	人/年	苦情件数	目標			
				実績			
成果指標	施設の利用者数	チーム/年	施設の利用者数	目標	24,500	41,100	30,000
				実績	27,309	20,677	

■事務事業の点検

必要性の点検

法定受託事務であるなど、市が実施する義務がある

事業を休廃止した場合、市民生活(行政サービスの提供)に深刻な影響が発生する

社会情勢の変化を踏まえても十分なニーズがある(ニーズを説明できる)

【必要性 Total判定】

A:高い(義務)     B:普通     C:低い

<Total判定の根拠など、必要性に関する補足説明>  
 市内体育施設は、市民の生涯スポーツ・健康管理などに利用されていることから利用者にとって重要である。

目標達成状況の点検

活動に関する昨年度の目標は概ね達成できた

成果に関する昨年度の目標は概ね達成できた

「取り組み方針(改善方針)」など指標に表れない事項について昨年度の目標は達成でき

【目標達成状況 Total判定】

A:目標よりも大きな成果が得られた     B:概ね目標の成果が得られた

C:目標とする成果が得られなかった

<Total判定の根拠など、目的達成状況に関する補足説明>  
 利用者の安全性に配慮した維持管理業務

実施内容・方法の点検

社会情勢やニーズの変化等を踏まえると、サービス対象・水準を見直す必要がある

当該事業の受益者が特定の個人や団体に偏っている

民間事業者やNPOなどに任せられる業務がある

コストを下げる工夫が考えられる

成果を高める工夫が考えられる

【実施内容等 Total判定】

A:見直す余地があり直ぐに実施     B:見直す余地があるが時間が必要

C:見直す余地がない

<Total判定の根拠など、実施内容・方法に関する補足説明>  
 市民が安全にスポーツを楽しめるよう、常に見廻りを行い、適切な維持管理を行う。また、予測できない緊急時に対応するため、日ごろより緊急連絡網等の準備対策を行う。

■課題と対応方針

課題	施設が老朽化しており、電気保安関係及び照明器具等において、突発的な故障が発生することが懸念される。また、利用者が減少している。
次年度における対応方針(改善方針)	施設の維持管理については、例年と同様に行う。施設を安全に使用するため修繕計画を立てて修繕を行う。突発的な故障等が発生した場合には関係部局と協議して対応する。
中長期的な視点での対応方針(改善方針)	利用者が安全で快適に使用するため、劣化している施設の修繕計画等の対応や利用者の拡充を図るため、施設の見回りや点検等の徹底が必要である。

■今後の方向性

一次評価【課長評価】

評価者 飯田 泰寛    担当課名 スポーツ振興課

事業の方向性  このまま継続     改善して継続     休廃止(    年後を目処)     終了

事業費の方向性  増額     現状維持     減額

次年度の取組方針(改善方針)

利用者が安全及び快適に使用するため、施設の維持管理を十分に努める

二次評価【部長評価】

部長名 仲川 文男    担当部名 教育委員会

確認  確認

市民が安全・安心にスポーツ等に親しめるよう、維持管理に努めることが肝要であり、継続していく必要がある。

※事務事業コード／ 0110050205

平成 23 年度 事務事業シート

部署名	部 教育委員会	課 スポーツ振興課	事業年度期限	●無 ○有 (平成 年度～平成 年度)			
会計	一般会計	款・項・目 100502 体育施設管理費	新規／継続 (事業区分1)	新規	市民協働	行政主体	総合計画コード
事業名	05 戸沢公園運動広場管理運営事業						3216
目的 (成果)	幅広い年齢層にわたって利用されていることから、良好な機能保持、施設周辺による景観に配慮した維持管理等を図る。						
内容 (概要)	市民が安全にスポーツが楽しめるよう運動広場の機能性を保持するとともに、施設及び敷地内の清掃、草刈、剪定など維持管理に努める。						

■事業費 (単位:円)

		平成21年度 決算		平成22年度 決算		平成23年度 予算		
事業内容	施設の維持管理運営業務		施設の維持管理運営業務		施設の維持管理運営業務			【特記事項】
財源内訳		国庫支出金	国庫支出金	国庫支出金	国庫支出金	国庫支出金		
		県支出金	県支出金	県支出金	県支出金	県支出金		
		市債	市債	市債	市債	市債		
		その他 102,900	その他 68,250	その他 219,000	その他 219,000	その他 219,000		
		一般財源 7,148,371	一般財源 2,206,712	一般財源 2,182,000	一般財源 2,182,000	一般財源 2,182,000		
		計 7,251,271	計 2,274,962	計 2,401,000	計 2,401,000	計 2,401,000		
歳出内訳		節番 節名称 金額	節番 節名称 金額	節番 節名称 金額	節番 節名称 金額	うち臨時分		
		08 報償費 90,000	08 報償費 90,000	08 報償費 90,000	08 報償費 90,000			
		11 需用費 121,435	11 需用費 117,154	11 需用費 236,000	11 需用費 236,000			
		12 役務費 66,800	12 役務費 56,400	12 役務費 57,000	12 役務費 57,000			
		13 委託料 87,152	13 委託料 113,882	13 委託料 127,000	13 委託料 127,000			
		14 使用料及び賃借料 1,873,968	14 使用料及び賃借料 1,873,968	14 使用料及び賃借料 1,875,000	14 使用料及び賃借料 1,875,000			
		16 原材料費 32,760	16 原材料費 23,558	16 原材料費 16,000	16 原材料費 16,000			
		17 公有財産購入費 4,979,156						
		決算額計 7,251,271	決算額計 2,274,962	予算現額計 2,401,000	予算現額計 2,401,000			
(参考)	H21当初予算額 7,258,000	H22当初予算額 2,401,000	伸び率(%) 対・決 5.5	対・予				
人件費	職員人件費 0.6 人工 4,773,000	職員人件費 0.6 人工 4,852,200	職員人件費 0.6 人工 4,828,200					
総事業費	歳出+職員人件費 12,024,271	歳出+職員人件費 7,127,162	歳出+職員人件費 7,229,200					

■指標

種類	指標名	単位	説明		平成21年度	平成22年度	平成23年度
活動指標	見回り回数	人	職員が実施した見回り回数	目標	30	30	30
				実績	30	30	
成果指標	年間の芝刈り日	回/年	年間の芝刈り日数(草刈含む)	目標	18	18	18
				実績	18	18	
成果指標	施設に対する苦情数	人/年	苦情件数	目標	0	0	0
				実績	0	0	
成果指標	施設の利用者数	チーム/年	施設の利用者数	目標	6,000	6,000	6,000
				実績	3,268	4,069	

■事務事業の点検

必要性の点検

法定受託事務であるなど、市が実施する義務がある

事業を休廃止した場合、市民生活(行政サービスの提供)に深刻な影響が発生する

社会情勢の変化を踏まえても十分なニーズがある(ニーズを説明できる)

【必要性 Total判定】

A:高い(義務)     B:普通     C:低い

<Total判定の根拠など、必要性に関する補足説明>

市内体育施設は、市民の生涯スポーツ・健康管理などに利用されていることから利用者にとって重要である。

目標達成状況の点検

活動に関する昨年度の目標は概ね達成できた

成果に関する昨年度の目標は概ね達成できた

「取り組み方針(改善方針)」など指標に表れない事項について昨年度の目標は達成でき

【目標達成状況 Total判定】

A:目標よりも大きな成果が得られた     B:概ね目標の成果が得られた

C:目標とする成果が得られなかった

<Total判定の根拠など、目的達成状況に関する補足説明>

利用者の安全性に配慮した維持管理業務

実施内容・方法の点検

社会情勢やニーズの変化等を踏まえると、サービス対象・水準を見直す必要がある

当該事業の受益者が特定の個人や団体に偏っている

民間事業者やNPOなどに任せられる業務がある

コストを下げる工夫が考えられる

成果を高める工夫が考えられる

【実施内容等 Total判定】

A:見直す余地があり直ぐに実施     B:見直す余地があるが時間が必要

C:見直す余地がない

<Total判定の根拠など、実施内容・方法に関する補足説明>

市民が安全にスポーツを楽しめるよう、常に見廻りを行い、適切な維持管理を行う。また、予測できない緊急時に対応するため、日ごろより緊急連絡網等の準備対策を行う。

■課題と対応方策

課題	管理人不在施設であることから、利用者の施設予約が直接できない。利用者等に偏りがあり、利用者も減員している。また、サッカー利用の頻度において、芝面の剥れが著しい状況である。
次年度における対応方策(改善方策)	施設の維持管理については、例年と同様に行う。施設内に建物等が無く、大きな障害等は発生しないと思われる。
中長期的な視点での対応方策(改善方策)	利用者が安全で快適に使用するため、劣化している施設の修繕計画等の対応や利用者の拡充を図るため、施設の見回りや点検等の徹底が必要である。

■今後の方向性

一次評価【課長評価】

評価者 飯田 泰寛    担当課名 スポーツ振興課

事業の方向性  このまま継続     改善して継続     休廃止(    年後を目処)     終了

事業費の方向性  増額     現状維持     減額

次年度の取組方針(改善方針)

利用者が安全及び快適に使用するため、施設の維持管理を十分に努める

二次評価【部長評価】

部長名 仲川 文男    担当部名 教育委員会

確認  確認

市民が安全・安心にスポーツ等に親しめるよう、維持管理に努めることが肝要であり、継続していく必要がある。



■指標

種類	指標名	単位	説明		平成21年度	平成22年度	平成23年度
活動指標	見回り回数	人	職員が実施した見回り回数	目標	30	30	30
				実績	30	30	
成果指標	年間の芝刈り日	回/年	年間の芝刈り日数(草刈含む)	目標	20	20	20
				実績	20	20	
成果指標	施設に対する苦情数	人/年	苦情件数	目標	0	0	0
				実績	0	0	
成果指標	施設の利用者数	チーム/年	施設の利用者数	目標	31,400	31,400	
				実績	32,546	27,569	

■事務事業の点検

必要性の点検

法定受託事務であるなど、市が実施する義務がある

事業を休廃止した場合、市民生活(行政サービスの提供)に深刻な影響が発生する

社会情勢の変化を踏まえても十分なニーズがある(ニーズを説明できる)

【必要性 Total判定】

A:高い(義務)     B:普通     C:低い

<Total判定の根拠など、必要性に関する補足説明>

市内体育施設は、市民の生涯スポーツ・健康管理などに利用されていることから利用者にとって重要である。

目標達成状況の点検

活動に関する昨年度の目標は概ね達成できた

成果に関する昨年度の目標は概ね達成できた

「取り組み方針(改善方針)」など指標に表れない事項について昨年度の目標は達成でき

【目標達成状況 Total判定】

A:目標よりも大きな成果が得られた     B:概ね目標の成果が得られた

C:目標とする成果が得られなかった

<Total判定の根拠など、目的達成状況に関する補足説明>

利用者の安全性に配慮した維持管理業務

実施内容・方法の点検

社会情勢やニーズの変化等を踏まえると、サービス対象・水準を見直す必要がある

当該事業の受益者が特定の個人や団体に偏っている

民間事業者やNPOなどに任せられる業務がある

コストを下げる工夫が考えられる

成果を高める工夫が考えられる

【実施内容等 Total判定】

A:見直す余地があり直ぐに実施     B:見直す余地があるが時間が必要

C:見直す余地がない

<Total判定の根拠など、実施内容・方法に関する補足説明>

市民が安全にスポーツを楽しめるよう、常に見廻りを行い、適切な維持管理を行う。また、予測できない緊急時に対応するため、日ごろより緊急連絡網等の準備対策を行う。

■課題と対応方策

課題	施設が老朽化しており、電気保安関係及び照明器具等において、突発的な故障が発生することが懸念される。また、利用者が減少している。
次年度における対応方策(改善方策)	施設の維持管理については、例年と同様に行う。施設を安全に使用するため修繕計画を立てて修繕を行う。突発的な故障等が発生した場合には関係部局と協議して対応する。
中長期的な視点での対応方策(改善方策)	利用者が安全で快適に使用するため、劣化している施設の修繕計画等の対応や利用者の拡充を図るため、施設の見回りや点検等の徹底が必要である。

■今後の方向性

一次評価【課長評価】

評価者 飯田 泰寛    担当課名 スポーツ振興課

事業の方向性  このまま継続     改善して継続     休廃止(    年後を目処)     終了

事業費の方向性  増額     現状維持     減額

次年度の取組方針(改善方針)

利用者が安全及び快適に使用するため、施設の維持管理を十分に努める

二次評価【部長評価】

部長名 仲川 文男    担当部名 教育委員会

確認  確認

市民が安全・安心にスポーツ等に親しめるよう、維持管理に努めることが肝要であり、継続していく必要がある。





■指標

種類	指標名	単位	説明		平成21年度	平成22年度	平成23年度
活動指標				目標			
				実績			
成果指標				目標			
				実績			

■事務事業の点検

<b>必要性の点検</b>	
<input type="checkbox"/>	法定受託事務であるなど、市が実施する義務がある
<input checked="" type="checkbox"/>	事業を休廃止した場合、市民生活(行政サービスの提供)に深刻な影響が発生する
<input checked="" type="checkbox"/>	社会情勢の変化を踏まえても十分なニーズがある(ニーズを説明できる)
【必要性 Total判定】	
<input checked="" type="radio"/>	A:高い(義務)
<input type="radio"/>	B:普通
<input type="radio"/>	C:低い
<Total判定の根拠など、必要性に関する補足説明>	
<b>目標達成状況の点検</b>	
<input type="checkbox"/>	活動に関する昨年度の目標は概ね達成できた
<input type="checkbox"/>	成果に関する昨年度の目標は概ね達成できた
<input checked="" type="checkbox"/>	「取り組み方針(改善方針)」など指標に表れない事項について昨年度の目標は達成でき
【目標達成状況 Total判定】	
<input type="radio"/>	A:目標よりも大きな成果が得られた
<input checked="" type="radio"/>	B:概ね目標の成果が得られた
<input type="radio"/>	C:目標とする成果が得られなかった
<Total判定の根拠など、目的達成状況に関する補足説明>	
<b>実施内容・方法の点検</b>	
<input type="checkbox"/>	社会情勢やニーズの変化等を踏まえると、サービス対象・水準を見直す必要がある
<input type="checkbox"/>	当該事業の受益者が特定の個人や団体に偏っている
<input type="checkbox"/>	民間事業者やNPOなどに任せられる業務がある
<input type="checkbox"/>	コストを下げる工夫が考えられる
<input type="checkbox"/>	成果を高める工夫が考えられる
【実施内容等 Total判定】	
<input type="radio"/>	A:見直す余地があり直ぐに実施
<input type="radio"/>	B:見直す余地があるが時間が必要
<input type="radio"/>	C:見直す余地がない
<Total判定の根拠など、実施内容・方法に関する補足説明>	

■課題と対応方針

課題	
次年度における対応方針(改善方針)	
中長期的な視点での対応方針(改善方針)	

■今後の方向性

<b>一次評価【課長評価】</b>	
評価者	飯田 泰寛
担当課名	スポーツ振興課
事業の方向性	<input checked="" type="radio"/> このまま継続 <input type="radio"/> 改善して継続 <input type="radio"/> 休廃止( 年後を目処) <input type="radio"/> 終了
事業費の方向性	<input checked="" type="radio"/> 増額 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減額
次年度の取組方針(改善方針)	

■二次評価【部長評価】

部長名	仲川文男
担当部名	教育委員会
確認	<input checked="" type="checkbox"/> 確認